

■ 中学校実践事例

第2学年 道徳科学習指導案

- 1 主題名 個人における責任や役割 【C よりよい学校生活、集団生活の充実】
- 2 教材名 「私の班行動の思い出」 (明治図書「中学生に道徳力をつける授業で使える新資料 35 選」)
- 3 主題設定の理由

ねらいとする価値

本主題では、学校の一員として自分の役割や責任を自覚し、集団の充実や向上のために正しいと判断し、適切な行動を取ろうとする意欲と態度の育成をねらいとしている。気の合う仲間同士になると、甘えで無責任な行動をとる傾向があるため、利己心や狭い仲間意識を乗り越え集団の充実のために、自己の役割や責任について考えることは大変重要である。また、いずれ最上級生として学校をまとめる立場に立つ学年であるため、集団の充実のために何が出来るのかを考え行動する力を培うために、本時の教材から主人公の気持ちを追究させることで、仲間と協力して目標を乗り越える楽しさや充実感を得る素晴らしさに気付き、集団のために自己の役割や責任は何かを考えることが出来る本主題は大変意義深い。

教材について

本教材「私の班行動の思い出」は、主人公を含めた4人が、修学旅行の班別自主研修で京都市内を計画的に班行動する予定だったのを、途中男女に分かれ、それぞれが好き勝手に行動をした結果、他の班の達成感のあふれた楽しそうな会話を聞き、自分たちがしてしまった身勝手な行動に後悔してしまうという内容である。この日のために班行動の準備をしてきたはずが、誰も見ていない状況になると自分勝手な気持ちが出た結果、男女に分かれて行動をしてしまう。班長である主人公も班長としてどう発言し行動すべきか考えずに楽な方を選んでしまう。生涯の思い出となるはずの修学旅行の班行動が、身勝手な行動を取ってしまうことにより後悔で終わってしまう。

本学級の生徒も、学校生活の中で利己心や狭い仲間意識から自分勝手な行動を取ってしまうことがある。そこで、本教材の主人公の気持ちを、自分自身に置き換えて考えさせながら追究することで、目標を目指して仲間と協力することの重要性や集団のために個人の役割や責任を果たそうとすることの大切さに気付くきっかけとなると考える。

発問・表現活動

【活用類型】：共感的活用

- ①共感場面の取り出し
「提案を受けた時は、どのような気持ちだったでしょう？」
- ②共感の波及・深化
「悔しくてたまらない気持ちになったのはなぜでしょう？」
「なぜ、先生に正直に告白しようと思ったのでしょうか？」
- ③共感のもとにある価値の明確化
「班長(班員)だったら、どうすることが出来るか？なぜ、その行為が大切なのか？」

【表現活動】：交流活動 ホワイトボード

提案を受けた時に、私は班のためにどうすることが出来るのかを考える。また、考えた行動を取ろうとする理由を意見交流して考えを深める。

- ↑ 心情の段階
- ・学校や学級みんなのため、係活動など責任をもって取り組みたいと思う。
 - ・みんなで目標を達成しようと言う。
 - ・みんなで目標を達成する楽しさが分かりこれからの行動に責任をもちたい。
 - ・女子同士で班長としての負担も減るかも。

生徒の実態

本学級の生徒は、学校内の決められたルールの大切さは知っている。また、社会は憲法や法律などに基づいて成り立ち、ルールの中で生活が営まれていることも理解している。しかし、大人の目が行き届かない場面や気の合う友人同士になると、甘えが生じ誘惑に流され、無責任な行動を取ってしまう傾向がある。また、一人一人が役割や責任を果たし、様々な困難を仲間と協力して乗り越える大切さについては理解が不十分である。そのため、利己心を乗り越え集団の充実のため個人の役割と責任を自覚する機会の提示が必要と考える。そこで、学校や学級の一員として自己の役割や責任を自覚し、集団の充実に努めることの素晴らしさについて理解させ、正しい行動を取るための個人の役割や責任について考えさせられる本教材は大変意義深い。

4 本時の学習

(1) 本時のねらい

- 主人公の気持ちを追究することで、仲間と協力して目標を乗り越える楽しさや充実感を得ることの素晴らしさに気づき、集団の充実のために行動を取ろうとする意欲を高めることができる。
- 集団の充実のため自己の役割や責任とは何かを考え、これからの学校生活で実践していく態度を身に付けることができる。

(2) 準備 読み物教材「私の修学旅行の思い出」、写真、ワークシート、アンケート、ホワイトボード

(3) 展開

	活動と内容	主な発問と児童の反応	教師の支援、意図・評価 (☆)
導入	<p>1 集団についてのアンケートを表示する。</p> <p>○ 修学旅行の班行動についての気がかりをもつこと</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;">めあて よりよい集団とはどのようなものか？</div>	<p>○ 集団生活の中で自分の思いを我慢して後悔した経験はないですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育会の種目を友達にゆずった。 ・友達が掃除を怠けようとしたけど、何も言わずに自分だけが掃除をした。 	<p>○ アンケートをもとに、集団生活上で我慢して後悔した経験にふれ、さらに、修学旅行の話題から教材の内容に入る。</p> <p>☆ 集団生活の問題や教材に興味をもっているか。</p>
展開前段	<p>2 男子から提案を受けた時の私の気持ちについて考える。</p> <p>○ 提案を受けた時の私の気持ちを追究し自分の考えを明確にして判断すること</p>	<p>○ 提案を受けた時の私はどのような気持ちだろう？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝手な男子が嫌で腹が立つ。 ・女子同士で気が楽だし、班長として負担が減るかも。 	<p>○ 私の気持ちの弱さを追究できるように、補助質問をして気持ちを追究させる。「なぜホッとしたのか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペア対話でお互いの意見を交流させる。
展開後段	<p>3 私の気持ちの変化について考える。</p> <p>○ 班活動について、主人公の私はどうすることが出来るのかを考え話し合うことで自分の考えを付加・修正・強化すること</p>	<p>◎ 集合時に悔しくてたまらない気持ちになったのはなぜだろう？また、私は何を大切にしたいかったのだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班行動の楽しさに気が付いたから。 ・みんなで目的を達成した時の充実感。 <p>◎ なぜ、先生に正直に報告しようとしたのだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班長なのに班員も後悔させてしまい自分がゆるせないから。 ・修学旅行をこのまま過ごすことはできないと思い直し、今からの自分の行動に責任をもちたかったのだ。 <p>◎ もし、あなたが班長（班員）だったらどうすることができるか。なぜ、そのような行為をすることが大切なのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで計画を達成しようと言う。 ・班長としての役割や責任を果たすことで自分も班員も後悔させないため。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペア対話でお互いの意見を交流させる。 <p>○ ホワイトボードを活用し私の気持ちや転換点の場面に立ち返った時にどうすることが出来たのか、さらに、その行為を行う理由を書かせる。個人で考えた後に、班で考えをまとめ全体で交流させる。</p> <p>☆ 班活動について、主人公は転換点の場面でどうすることが出来たのかを考える。さらに、その行為を行う大切さを交流し自分の考えを深めようとしているか。</p>
終末	<p>4 授業のまとめをする。</p> <p>○ 感得した価値の実現をめざしていこうとする実践意欲を高めること</p>	<p>○ これからの集団生活の充実のため、どのようなことを頑張っていきたいと思いますか？</p>	<p>○ 導入時のアンケートにふれ、これからの集団生活への生かし方や思いを書かせ、実践への意欲につなげる。</p>
	<p>学級や学校のために、自分に何が出来るのかを考えながらこれからの学校生活を送りたいと思う。そして、みんなのことを考えて責任をもってこれからの係活動などを行っていきたい。</p>		

5 授業の実際

- 〈導入〉 学年・学級集団の中で、自分の思いを我慢して後悔した経験を発表し合うとともに、11月に実施予定の修学旅行の話題にふれていくことで、生徒たちは学習への興味・関心を高めることができた。また、発言の内容から集団の抱えている課題に生徒が気付くことができたと考えられる。
- 〈展開前段〉 教材「私の班行動の思い出」が、生徒の身近である修学旅行で起こった問題を扱った内容であったため、興味を持って教材を読む姿が見られた。そして、教材中にある男子の提案を女子が受け入れた場面では、生徒もそれぞれの意見をもった様子で、ペアで自分の思いを話す姿が見られた。
- 〈展開後段〉 教材後半の主人公の気持ちを追究していくことで、主人公が、責任を果たせない後悔や班で楽しい思い出をつくれなかった悔しさに生徒たちが共感する様子が伺えた。そして、主人公が、転換点となる場面に立ち返った時に、どうすることができたのかも考えることができ、生徒は自分の意見をもつことができたと考えられる。さらに、班活動でホワイトボードを活用し、考えや理由をまとめ、全体で交流をすることで意見を深める姿が見られた。
- 〈終末〉 導入時のアンケートに立ち返り、これからの集団生活をどのように過ごしていきたいのかを書く活動を行ったことで、これから始まる修学旅行に向けて大切にしていきたい思いやこれまでの学校生活を見直す記述が見られた。

6 授業後の生徒の感想

- ・ 最初は男女別行動だと、女子の班長も気が楽になると思ったけど、班長が後悔する姿から、みんなで協力していかないと楽しい思い出はつukれないのだと思った。
- ・ 男子の好き勝手さはゆるせないと思った。しかし、もし自分がその場にいたら注意できなかったと思う。私は、修学旅行での思い出を、後悔で終わらせたくないの、そのような場面になったら注意しようと思う。
- ・ 自分のわがままで好き勝手な行動を取ったら、周りに迷惑がかかると改めて思った。やはり、男女の班で協力していく方が、大変だけど達成感もあるし、楽しい思い出になると思った。11月の修学旅行は、みんなで協力して班研修を成功させたい。

7 授業のまとめ

本学級の生徒は、気の合う仲間同士（特に同性間）になると、つい無責任な行動を取ってしまう場面がしばしばみられた。また、個人や小集団の無責任な行動が、学年や学級全体に迷惑をかける場面もみられた。そこで、男女間においても相手に対する理解を深め、みんなで協力して目標を達成する充実感や個人の責任を果たす大切さに気付かせたいと考え、本授業を実践した。修学旅行を控えた時期ということもあり、本主題に興味をもち、考えを深めていった様子であった。しかし、今回の授業だけでは、生徒の変容を図ることは難しいため、修学旅行や日常生活の中で、継続的に指導を行う必要があると思われる。